



# 梅田中だより

## <第12号>

### 第2回 教育活動に関するアンケート等の結果について

2学期末に実施しました「第2回 教育活動に関するアンケート」では、大変お世話になりました。アンケート結果については、以下のようになりました。「A：あてはまる」「B：まあまああてはまる」を合計して80%以上を一つの評価ラインと考えました。また、第1回との比較においては、5%以上の増減を特化してみました。

教育活動に関するアンケート(生徒)		H29.12実施						
	項 目	前期	後期割合				前期との比較 (A+B)	5%以上増減
		A+B	A+B	C+D	E	未記入		
I 保護者連携	1 家では、授業参観や学校行事のことが話題になる。	74%	73%	22%	1%	4%	-1	
	2 家では、学校からの通知やたよりなどに書かれていることが話題になる。	68%	67%	28%	1%	4%	-1	
	3 学校からの通知やたよりなどを忘れずに届けている。	81%	79%	16%	1%	4%	-2	
II 確かな学力	4 授業等で「分かった」、「できた」という気持ちを持つことがある。	89%	91%	4%	2%	4%	2	
	5 授業態度や宿題、作品の提出、歌や運動のことで先生にほめられ、やる気ができたことがある。	85%	82%	12%	2%	4%	-3	
	6 家庭学習(塾等も含む)に以前よりも取り組めるようになった。	75%	81%	9%	5%	4%	6	◎
III 豊かな心	7 学校生活や部活動、家庭生活などで一生懸命取り組むものがある。	93%	87%	5%	4%	5%	-6	×
	8 他の人の気持ちを考えて生活している。	92%	92%	5%	0%	4%	±0	
	9 学校が楽しいと感じている。	88%	88%	5%	4%	4%	±0	
	10 悩みやストレスを感じたとき相談できる人がいる。	82%	79%	15%	2%	4%	-3	
	11 大きな声で挨拶をしている。	89%	93%	4%	0%	4%	4	
	12 大きな声で返事をしている。	89%	93%	4%	0%	4%	4	
	13 大きな声で校歌を歌っている。	86%	88%	8%	0%	4%	2	
	14 清掃や係の活動にはきちんと取り組んでいる。	95%	94%	0%	1%	4%	-1	
	15 社会のルールやマナーを意識して生活している。	92%	91%	4%	1%	4%	-1	
	16 学校、学級、部や友達のためになることをやっている。	91%	86%	5%	4%	4%	-5	×
IV 充実した学校生活	17 学校行事には持てる力を出して、協力的に参加している。	88%	92%	2%	2%	4%	4	
	18 部活動や文化、スポーツ活動には、目標達成を目指して意欲的に参加し、技能や体力を高めている。	92%	92%	2%	2%	4%	±0	
	19 職業調べ、職場体験、進路説明会などで得た進路情報をもとに自分の学習への取り組みや進路について考えている。(1年生回答なし)	85%	84%	9%	2%	5%	-1	
V 安全健康	20 必ず朝ご飯を食べている。	93%	93%	4%	0%	4%	±0	
	21 毎日十分な睡眠をとっている。(夜遅くまで起きていない。)	78%	66%	27%	4%	4%	-12	×
	22 「受診のすすめ」等を参考に治療している。(「受診のすすめ」をもらっていない場合は、Aに0)	75%	80%	13%	4%	4%	5	◎
	23 普段から、危険な行動をとらないようにしたり、危険な所に近づかないようにしている。	89%	88%	7%	1%	4%	-1	

教育活動に関するアンケート(保護者)		H29.12実施						
	項 目	前期	後期割合				前期との比較 (A+B)	5%以上増減
		A+B	A+B	C+D	E	未記入		
I 保護者連携	1 授業参観や学校行事等に積極的に参加している。または、しようとしている。	87%	91%	5%	0%	5%	4	
	2 学校からの通知やたよりから、学校や子どもの様子がわかる。	84%	87%	7%	1%	5%	3	
	3 お子さんは学校からの通知やたよりなどを忘れずに届けている。	72%	69%	25%	0%	5%	-3	
	4 学校は、何かあったときには、電話連絡や家庭訪問を行っている。	76%	84%	7%	5%	5%	8	◎
II 確かな学力	5 学校は、ワークシートの活用など、授業の工夫をして、一人一人に応じた適切な指導に努めている。	71%	69%	13%	13%	5%	-2	
	6 学校は、テスト結果だけでなく、授業態度や宿題の提出状況等のいろいろな面から評価している。	73%	87%	1%	7%	5%	14	◎
	7 お子さんは家庭学習(塾等も含む)に以前よりも取り組めるようになった。	64%	75%	20%	0%	5%	11	◎
	8 お子さんは、学校生活や部活動、家庭生活等で意欲を持って取り組むものがある。	87%	89%	6%	0%	5%	2	
	9 お子さんは、他の人の気持ちを考えることができる。	87%	88%	7%	0%	5%	1	
	10 学校は、学年・学級や部活動の指導を通して、よい人間関係づくりに取り組んでいる。	84%	84%	8%	2%	6%	1	
	11 学校では、いじめや不登校の問題などに多くの先生やカウンセラーが関わっている。	72%	82%	5%	8%	5%	10	◎
III 豊かな心	12 お子さんは、あいさつなど時と場に応じた言葉遣いができる。	89%	92%	4%	0%	5%	3	
	13 お子さんは、社会のルールやマナーを意識して生活している。	87%	89%	5%	1%	5%	1	
	14 学校からのたよりや通知表等には生徒の活躍の様子やよい面が書かれている。	87%	92%	4%	0%	5%	5	◎
	15 お子さんは、学校行事に友達と一緒に持てる力を出して積極的に参加している。	89%	93%	2%	0%	5%	4	
	16 お子さんは、部活動や文化・スポーツ活動等で、特性や能力(体力)をのばしている。	91%	86%	8%	1%	5%	-5	×
	17 お子さんの職業調べや職場体験、進路説明会などで得た進路情報をもとに学習や進路のことを家庭で話し合っている。(1年生回答なし)	84%	93%	2%	0%	5%	9	◎
	18 保健のたよりや受診のすすめ等による情報は、お子さんの生活習慣の見直しや健康保持に役立っている。	89%	87%	6%	2%	5%	-2	
V 安全健康	19 学校は、生徒の安全確保のために、自転車点検や街頭指導や避難訓練、集会での指導を定期的実施している。	89%	93%	2%	0%	5%	4	



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」  
 <文責 小川 哲雄>  
 TEL 32-1018、FAX 32-1039  
 URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

A：あてはまる B：まあまああてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない

## < I 保護者連携 >

- 「電話連絡や家庭訪問を行っている。」については、前回は上回り改善されましたが、今後もより一層の情報共有、迅速な対応に心がけていきたいと思ひます。8月の通信でも書きましたが、特に身体にかかわること、いじめの疑いを感じる事等については、迅速に対応していく方針です。
- 学校からの通信やたよりが届かないという様子がうかがえます。このことについては、保護者からの自由記述欄にも書かれおり、過去においても同じような結果であったことがわかり、改善が必要なことだと認識しています。個別にも指導はしていますが、学校としての改善策、家庭としての改善策を考えていく必要があると思ひます。

## < II 確かな学力 >

- 全国学力学習状況調査の質問紙の結果からも、自尊感情、発表すること、説明することへの子どもたちの気持ちや認識、力にやや課題があることが見えてきています。そのためにも、子どもたちが「わかった、できた」という実感が持てるよう肯定的評価や自分の考えを表現する場を保障しつつ、個に応じた支援を充実させていく方針です。テスト前の補習や宿題忘れの対応等では、個別に対応しておりますので、今後も継続していきます。
- 家庭学習の項目については、各学年とも1回に比べると改善されてきています。1年(生80保60)→(生83保73)、2年(生60保56)→(生72保64)、3年(生83保73)→(生93保90)となりました。それぞれの学年の立場から意識の違いが見られるようですが、さらに向上できるよう支援していきたいと思ひます。

## < III 豊かな心 >

- ルールやマナー、あいさつを意識した生活ができています。
- 思春期の時期である子どもたちにとって、悩みや不安があるのが当たり前ですが、問題はそれをどう処理できるかということです。心の問題を伝えられる環境が必要であるということです。そのためにも、生徒同士、生徒と教師、生徒と保護者間のより良い人間関係づくりに向け、コミュニケーション能力を高めていき、安心していられる環境にしていくよう取り組んでいければと思ひます。

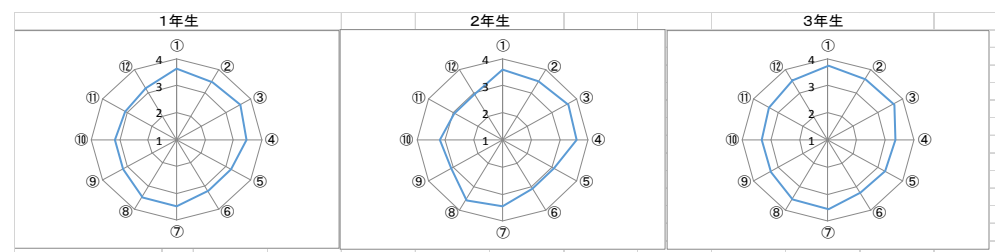
## < IV 充実した学校生活 >

- 学校行事などで協力して取り組んでいる姿は十分に見受けられますが、そのことが自己有用感に結びついていない感じもあります。やはり、自己肯定感や自尊感情を高めていく上でも、肯定的評価を大事にしていく必要があると思ひます。

## < 健康安全 >

- 歯科の治癒率が低い(市内でも低い)ことと睡眠不足が課題でもあります。家庭での協力になってしまいますが、よろしくお願ひいたします。
- 自由記述で、災害時の引き渡し訓練のことが寄せられました。本校としては、保護者を交えての訓練については、地理的条件等を考え、予定はありませんが、引き渡しの流れについては、保護者会等で周知していきたいと思ひます。

基礎的・汎用的能力	No.	各能力における要素	1年	2年	3年
人間関係形成 社会形成能力	1	友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしていますか。	3.6	3.6	3.8
	2	相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	3.3	3.5	3.6
	3	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしていますか。	3.5	3.6	3.7
自己理解・自己管理 能力	4	自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていますか。	3.4	3.6	3.3
	5	気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。	3.3	3	3.3
	6	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしていますか。	3.3	3	3.2
課題対応能力	7	分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集したり、だれかに質問をしたりしていますか。	3.4	3.4	3.6
	8	何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	3.3	3.5	3.5
	9	何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしていますか。	3.2	3.1	3.3
キャリアプランニング 能力	10	学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。	3.1	3.2	3.3
	11	自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えていますか。	2.9	3	3.4
	12	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	3.2	3	3.6



## < キャリア教育等のアンケートより >

上の資料は、2学期末に子どもたちに答えてもらった「社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度」(キャリア教育)にかかわるアンケート結果です。

これをみると、キャリアプランニング能力がやや低い傾向にありますが、上級学校調べ、職場体験学習を経て、進路選択していく過程で培われています。

しかし、進んで学ぼうとする力、得意なことや長所短所を把握し、自分のよさを生かそうとする力、苦手なことも粘り強く取り組む力である自己理解・自己管理能力が弱い傾向にあると考えられます。そして、このことは、やはり自己肯定感や自尊感情にもかかわっています。

また、2学期の授業参観で協力していただいたアンケート(保護者の願ひ・課題)の結果でも同じところがあります。学習にかかわる11思考判断はもちろんですが、1生活習慣、3思いやり、4自主自立、6根気強さ、12コミュニケーション能力が求められおり、梅田中としてこうした力を課題として取り組んでいくことが大切であると考えています。

